

令和2年6月

## 小児科に通院中の患者さまとご家族の方へ(疫学調査に関する情報)

当院小児科では、以下の疫学調査研究に参加しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 北海道における新生児乳児幼児期のビタミンD欠乏症の疫学調査  
Hospital-based Study

【研究代表機関名・研究代表者名】 旭川医科大学小児科・棚橋祐典

【共同研究機関】 市立札幌病院小児科(責任者:佐野仁美)ほか道内多施設小児科

【研究目的】 北海道は高緯度地域のため、紫外線不足によりビタミンD欠乏症のリスクが高いことが懸念されています。この調査では、最近5年間のビタミンD欠乏症の発症頻度、発症要因を解析することで北海道の特徴を明らかにし、ビタミンD欠乏症の予防や指導に役立てることを目的とします。

【研究方法】 2015年1月から2019年12月までに小児科受診し、ビタミンD欠乏症またはビタミンD欠乏性くる病と診断された方が対象です。診療カルテ情報から、年齢・性別・居住市町村・栄養方法・食生活・血液検査所見・レントゲン所見をアンケート調査票に記載して、旭川医科大学に送付します。同大学で、全道の症例(目標120例)を集積して解析します。道内で行われた過去の調査結果と比較します。

### 【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### 【お問い合わせ】

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

また、この調査研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記までご連絡ください。その場合も、患者さまに不利益が生じることはございません。

お問い合わせ先： 北海道札幌市中央区北11条西13丁目 (TEL 011-726-2211)  
市立札幌病院小児科 佐野仁美